

会 議 議 事 録

| | |
|------------------------------------|--|
| 1 会議名 | 令和5年度第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議 |
| 2 開催日時 | 令和6年3月27日（水曜日） 午後2時30分から午後4時まで |
| 3 開催場所 | アオーレ長岡東棟 4階 大会議室 |
| 4 出席者名 | （委員）野口委員長 川崎副委員長 井佐委員 岡村委員 鯉江委員 小林委員 横澤委員 佐々木委員 竹内委員 長谷川委員 高橋委員 郷委員 大倉委員 山崎委員 稲垣委員 舩越委員 （事務局）福祉保健部長 介護保険課長 福祉総務課長 長寿はつらつ課長 健康増進課長 長岡市社会福祉協議会事務局長ほか関係職員 |
| 5 欠席者名 | 覺張委員 鈴木委員 米山委員 |
| 6 議題 | (1) 第2期長岡市地域福祉計画（最終案）について (2) パブリックコメントの結果について (3) 第9期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（最終案）について |
| 7 資料 | 別添のとおり |
| 8 審議の内容 | |
| 発言者 | 議 事 内 容 |
| 介護保険課介護事業推進係長 | ○資料確認等 ○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者なし。 会議が公開であることの説明。 |
| 委員長 | （ここからは委員長が進行） ○議題1「第2期長岡市地域福祉計画（最終案）について」、事務局から説明願う。 |
| 担当課より説明 （福祉総務課長） （福祉総務課企画係長） | （資料No.3をもとに説明） |

| | |
|-----------------------------------|---|
| 委員長 | <p>ただいまの説明について、質問等あるか。</p> |
| 委員 | <p>新年度から「ボランティア銀行」はどんな形で実施されるのか。ボランティア銀行ができた時からの会員であり、預託の制度が画期的だと感じていた。</p> |
| 長岡市社会福祉協議会 事務局長 | <p>ボランティア銀行は長岡市社会福祉協議会が中心的に取り組んでいる。これまでは高齢者や障害者に簡易な家事支援（洗濯や買い物同行など）を行っていたが、今後、事業は継続するが対象を子育て世代に広げたり、預託制度を見直して「ながおかペイ」を導入したりしたいと考えている。</p> <p>また、支援を受ける・提供する活動エリアを広げたいと考えている。現在は、コミュニティセンターの地区ごとに地区社会福祉協議会があるため、当該地区内だけで活動をしている。しかし、ボランティアの担い手が不足している状況もあることから、長岡市社会福祉協議会の本部が地区と地区とを仲介し、対象エリアを広げて活動が出来るように取り組みたいと考えている。</p> <p>本事業を見直すきっかけとして、支援をする側のボランティアの担い手不足であること、従来の預託制度で清算する人が減ってきていることがある。今度、どう発展させていくかはまだ手探りの状態であるため、広く周知を図りながら取り組んでいきたい。</p> |
| 委員 | <p>「重層的支援体制整備事業」のあり方についてこれから検討となっているが、国も積極的に進めていることから重要だと思う。早期実現できるように取り組んでもらいたい。</p> |
| 福祉総務課長 | <p>長岡市の包括的な支援体制の中に、どのような形で重層的支援体制が合致するか研究して参りたい。</p> |
| 委員長 | <p>○議題2「パブリックコメントの結果について」、○議題3「第9期長岡市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画（最終案）について」を続けて、事務局より説明願う。</p> |
| 担当課より説明 (介護保険課長) (長寿はつらつ課長) | <p>(資料No.1、資料No.2—1、2—2、2-3をもとに説明)</p> |
| 委員 | <p>132ページ「中・長期的な視点に基づく介護保険制度の運営」に、今後の人口推計や75歳以上の被保険者数のピーク時期などの数値等の掲載があり、これを参考に今後のことを見通しながらサービス提供量を考えることができる。今後も市の詳細な状況資料</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>を提示していただけるとありがたい。これからのサービス展開に参考にさせていただく。</p> |
| 委員 | <p>「介護人材の確保」に関連して、今回の介護報酬改定において、1.59%アップと示されたが、これが確実に介護現場で働いている皆さんにつながるようにご支援をお願いしたい。前回の報酬改定では事務手続きが煩雑のため、なかなか加算を取れなかったという声を聞いている。これらに対する支援についてもお願いしたい。</p> |
| 介護保険課長 | <p>今回の報酬改定では、基本報酬の引き上げ、一部のサービスは引き下げとなっているが、介護人材の加算は引き上げとなっている。ご指摘のとおり、加算要件が非常にわかりにくいという声があることから、国も相談窓口等を設けるといった情報もある。国から情報が入り次第、市から事業者の皆様へ周知を図りたい。</p> |
| 委員 | <p>32ページ「日常生活圏域のエリア概略図」内に「コミュニティ活動区域」があるが、日常的な活動を実施するのは、この区域になるため、日常生活圏域とコミュニティ活動区域をうまく連動できる取り組みをお願いしたい。第9期計画の第2章に掲載している活動を行うにあたっては、この区域がベースになり、地域福祉計画にも連動してくると思う。また、民生委員のなり手不足や高齢化の問題がある中で、次世代のリーダーづくりや、ボランティアの担い手等がうまく連動して、恒常的につながっていくような仕組みがこれから求められていると考える。</p> |
| 委員 | <p>「短期集中レベルアップ事業」の内容がよく分からない。 「長岡パーソナルサポートセンター」はどこにあるのか。</p> |
| 長寿はつらつ課長 | <p>「短期集中レベルアップ事業」は、高齢の方が体力の低下等があった場合、3ヶ月間集中して、その人にあった筋力をつけて、生活改善を図るサービスである。要支援1・2、事業対象者が対象になる。通常は、通所のプログラムであるが、自宅への訪問プログラムもあるため、まずは地域包括支援センターに相談していただきたい。</p> |
| 福祉総務課長 | <p>パーソナルサポートセンターは、トモシアに所在し、生活支援課が運営している。</p> |
| 委員 | <p>老人会・老人クラブといった名称が時代に合わなくなってきたのではないかと思う。長岡市だけ変更するわけにはいかない</p> |

| | |
|-----------------|---|
| <p>長寿はつらつ課長</p> | <p>と思うが、親しみやすい響きの良い名称にしてみたら加入する人が増えるかもしれない。</p> <p>「老人クラブ」の名称に抵抗を感じているといった声を聞いているところである。書類上は「老人クラブ」と記載しているが、地域単位で活動している老人クラブの中には、別の名前で活動している団体もあるため、そういった意識のある人がいると、名前も変わっていくのかと思っている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>老人クラブの理事をしているが、事務局内でも「老人クラブ」でなく、別の名称を考えたいという話が出ている。今日の意見を理事会でも出させていただく。各単位クラブは、若々しい名前をつけて活動しているクラブもある。</p> <p>感想になるが、介護保険はとてもお金が掛かっているのだなと思った。私も老人クラブに入っているが、老人クラブに参加している人は若々しい人が多い。やっぱり健康寿命を延ばすことが大事なことだと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>62ページ「フェニックスネットの推進」について、次期計画でも引き続き推進されるということで非常に心強く感じている。関係者向けの啓発と合わせて、市民向けの周知・啓発もぜひ継続して行っていただきたい。一部の専門職だけではなく、市民の方一人一人が安心して暮らしていただくための大事な仕組みだと思うので、ぜひ取り組んでいただきたい。</p> |
| <p>長寿はつらつ課長</p> | <p>関係者の皆様と市民の皆様の両方にフェニックスネットを広げていきたいと考えている。これからもしっかりと取り組んでいきたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>長岡市は山間部から市街地、海岸部まで特色ある地域を抱えていて、第9期計画には「できる限り住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを続けられるように」と大きく掲げられている。そのため在宅医療がしっかりと確定していないとなかなか達成できないと思う。長岡市全体でも、医療機関が集中している地域と足りていない地域とがはっきりと分かれているため、高齢者が受け取りやすい情報発信の方法も含めて、市民が安心して住み慣れた自宅で長く過ごせるような在宅医療の安定を図っていただきたい。</p> |
| <p>福祉保健部長</p> | <p>ご意見ありがとうございます。地域医療の問題は、課題の一つだと思っている。テレビ、新聞等でご覧になったかもしれない</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>が、山古志地域でオンライン診療を実施している。オンライン診療は、医師との対面診療の場合と、病状によってはオンライン診療の場合があり、その時々状況によって診療方法が変わる。地域住民の皆さんから、状況が安定している時は診療所に行かずに診療ができるということで、非常に便利な側面があることが分かったという声をいただいている。</p> <p>長岡市全体の中でどう進めていけるかは、大きな課題の一つであり、市の職員だけではできず、医師会をはじめ、福祉・介護分野等の関係者の皆さんからの意見も聞きながら進めていかなければならないと考えている。改めて、地域の皆さんも思いを認識させていただいたため、今後も地域医療のあり方について関係者としっかり協議していきたい。</p> |
| 委員長 | <p>今ほど説明がありました「第2次長岡市地域福祉計画」と「第9次長岡市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画」の最終案について、いずれも承認ということで皆さんよろしいか。</p> <p>(承認)</p> |
| 委員長 | <p>承認いただきありがとうございます。</p> <p>今日が策定に向けた会議の最後になるため、委員の皆さんから順番に感想等を一言ずついただきたい。</p> |
| 委員 | <p>地域福祉計画の中で、令和4年10月から「長岡市成年後見センター事業」の開始と記載があるが、具体的にどのくらいの相談があり、実際に成年後見制度に結びついた人の人数等がわかれば教えていただきたい。</p> |
| 福祉総務課長 | <p>令和3年度の相談件数は209件、開設年の令和4年度は745件。長岡市成年後見センターが開設して、相談件数は3.3倍ぐらい多くなっている。今後も周知を図り、利用していただきたいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>在宅医療について意見が出たが、山古志地域のオンライン診療の事例を注目している。これがうまくいけば、非常に期待が持てると思う。一方で、医師の高齢化や県内の医師が少ない等の問題がある。私も病院にいながら、時々訪問診療等を行っているが、なかなかマンパワー的にもきつい面がある。必要だとは思っているが、現実なかなか難しいところもあるためご理解いただきたい。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>コミュニティ活動区域での活動が非常に大事だという話が出たが、私も同じように感じている。法律や制度で決まっていることはきちっとやれば良いが、地域コミュニティは決まった制度があるわけではないため非常に難しい。</p> <p>地域福祉計画の48ページからの調査結果は、とても興味深いものであった。難しい課題だが、今後は行政が地域コミュニティをどう作っていくのかということに一步踏み込んでもらえるとう非常にありがたい。</p> |
| 委員 | <p>私らの事業所は、要介護者に対してのサービスを中心に提供しているが、今後は「介護予防」が大事だと改めて思った。</p> <p>健康寿命を伸ばしていくために「短期集中レベルアップ事業」や「筋力向上トレーニング事業」を、私どもの事業所でも広げていくことが大切だと思っている。しかし、課題として第9期計画にも書いてあるとおり、運営にあたってかなり厳しい状況であり、施設の持ち出しをした中で介護予防事業が成り立っている部分もあるため、今後、運営面への支援があると動きやすくなると考える。</p> |
| 委員 | <p>介護労働者の処遇改善に関連して、居宅介護支援事業所についても、在宅医療と同様、なり手がいないという話も聞いているため、人材確保に向けて配慮をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>住民自治を大事にしながら、助け合いを広げていくことが地域で大事なこと。一人一人から広げていけたらいいかと思う。</p> |
| 委員 | <p>商工会議所は、企業の集合体になるため、「健康づくり」の面で市と連携していきたい。また、コミュニティ活動は、高齢者になればなるほど、活動のベースとなるのが小学校区や町内会になると思う。その辺は、地域福祉計画の中でうまく踏み込んで取り組んでいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>民生委員として3つの町内を回っており、初めて知らない町内の高齢者宅を尋ねると「どちら様？」といった反応がすごく怖く、信用してもらえないのだろうかとう不安であった。今は、何回か回って顔を覚えてもらえるようになった。</p> <p>また私の町内は、地震をきっかけに、町内の人々の顔を覚えるために、防災訓練等を実施する防災会を立ち上げ交流を図っている。こんなふうに、地域の様々な人と関わり、色んなところとつながっていくことが大切だと思う。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>新潟少年学院に約15年間ボランティアとして一人ひとりの少年の気持ちに寄り添いながら誕生会や行事に参加している。少年たちには再犯することなく更生し、将来社会人として頑張ってもらいたい。地域福祉計画に記載されている「再犯防止に向けた取り組みの推進」や「再犯防止の基盤の整備」にぜひ取り組んでもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>第9期の介護保険料の算定を聞いて、介護保険はみんなで支える事業だなということをつくづく感じた。要介護にならないように、検診を受けて、体を鍛えていきたいと思った。</p> |
| 委員 | <p>寺泊地域の野積で民生委員をしている。1月1日の能登半島地震による津波警報が出た際の避難状況をお知らせしたい。私の地区は野積センターが避難所として開設したため、暖房やトイレが使えた。しかし、周辺地区では高いところにある神社や道路にとりあえず逃げた人も多く、トイレや防寒に困ったという話を聞いた。また、避難する際は区長や自治会長が、単身の高齢者宅等に声かけをするために名簿を持っているが、その自助ができていなかったという事案があった。今後どう対応できるかを協議していかなければならないと考えさせられた1月1日だった。</p> |
| 委員 | <p>在宅看護師として話をするが、介護保険の抑制のために、認知症予防は重要であり、早期発見、早期治療とうたわれている。一般的にもこれを分かっているが、自分の家族や自分事として受けとめている人はなかなかいない。認知症が自分事として感じられるような、周知・啓発を行っていないと、早期発見、早期治療につながらないのかなと感じている。</p> |
| 委員 | <p>福祉は広範囲に関わっており、これらの計画を一生懸命策定した市担当者に敬意を称したいと思う。近しい人の中に、がん患者や認知症患者等もあり、福祉はすごく頼りになるため、今後ともぜひ頑張ってもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>今回の報酬改定で、訪問介護がマイナス改定であり非常に驚いている。「安心した社会で住み慣れた地域で暮らす」ために、他の福祉サービスと同様に、訪問介護も重要なサービスと考えている。私どもの事業所でも質の担保や人材確保に取り組んでいくが、行政を含めた関係機関と共同でサービスがしっかりと維持できるように、力を借りていきたいと思う。</p> <p>一点質問で、「ボランティア銀行」の対象を令和6年度から子育て世代にも広げるとの話が出たが、子育てを地域ぐるみで支え</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>長岡市社会福祉協議会 事務局長</p> | <p>ているのは非常に心強いと考えている。具体的にはどのような支援を行う予定なのか教えていただきたい。</p> <p>具体的には、家庭で子育てに専念できる時間が持てるように、その他の家事支援を行うことを考えている。基本的には住民同士の助け合いによる支援であることから、専門知識を持った人が直接的な子育て支援を行うのではなく、できる範囲で間接的な子育て支援を行いたい。</p> |
| <p>副委員長</p> | <p>計画を拝見し、ものすごく幅広く多様なものを策定し、大変な作業だったと思う。計画の基本理念にある「誰もが健やかで元気に、安心して暮らせる地域共生社会の実現」に尽きると思う。</p> <p>話が変わるが、3月20日の新聞に「買い物弱者」の記事が掲載されていた。対策として、宅配や移動販売車などが一例に挙げられていた。しかし、「商品を頼んだ覚えはない。」とクレームが入ることもあり、認知症の人等とトラブルになることもあると耳にしている。誰もがいつかは年をとり、自分ごととして考えていた時に、買い物弱者は切実な問題になるのだろうと感じながらこの記事を読んだ。</p> <p>最近スーパーの移動販売車が多く走っていて、自宅の近くまで販売車が来てくれることは良い方法だと思っている。こういうものが増えていくと、「誰もが健やかで元気に、安心して暮らせる地域共生社会の実現」になると感じている。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>委員の皆さんありがとうございました。この会議以外でも、また何か意見や要望があれば、いつでも市の職員へ相談してみしてほしい。長岡市社会福祉協議会も同様だが、皆さんの意見から政策につながっていくと思っている。</p> <p>私自身は、昨年7月から委員長を仰せつかり、不慣れな進行で申し訳なかった。計画策定に向けた会議は、これで終わることができる。ありがとうございました。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しする。</p> <p>(ここからは事務局が進行)</p> |
| <p>介護保険課介護事業推進係長</p> | <p>長時間にわたり、審議いただき、また貴重な意見をちょうだいし、感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>最後に福祉保健部長より挨拶を申し上げます。</p> |
| <p>福祉保健部長</p> | <p>委員長、副委員長をはじめ、委員の皆様、御協力ありがとうございました。膨大な案件を短時間で審議しなければならな</p> |

め、進め方や説明が不足だったかもしれないが容赦いただきたい。計画の内容や質問等があれば、ぜひ個別に市に問い合わせいただきたい。

皆様のおかげで、ようやくまとめることが出来たこと、厚く御礼申し上げます。この計画をどうやって実現をしていくのか、これからが大切なことだと思っている。皆さんからの意見を伺い、コミュニティや介護関係者事業者の皆様への情報提供、地域医療の課題、こういったものを市民の皆様はどう理解していただくのか等、いろんな問題を示唆いただいた。

人口減少が進み、これまでと同じ方法では立ち行かない時代がやってくるが、市民の皆様一人一人ができること、家族でできること、地域やコミュニティでできること、医療事業者や介護事業者の皆様はじめ、関係事業者の皆様頑張ってくださいこと、いろいろなことがあるのかと思っている。

今後に向けて、市民の皆さんから関心を持ってもらうこと、知ってもらうことが大事だと考える。新年度になったら、改めて各種情報を周知していきたい。委員の皆様からは、今後も情報提供や意見交換ができるおつき合いを継続させていただきたい。本当に長い間ありがとうございました。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

○閉会